

10月15日は
化石の日!

開館 20 周年記念

サイエンスカフェ 古生物を美味しく食べる方法

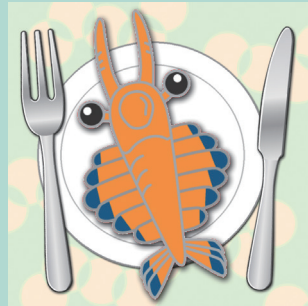
アノマロカリスから三葉虫、クビナガリュウまで。古生物の味と調理に科学的にせまります。

と き 10月14日(祝) 午後3時～4時

と ころ サイエンスショールーム

講 師 オフィス ジオパレオント サイエンスライター 土屋 健

対 象 どなたでも **定 員** 60人 **参加費** 無料



いのち 生命の海から

学芸員 森 浩嗣

石は口ほどにものを言う

生命の海科学館には、750万年前のインカクジラや、1億8千万年前のイクチオサウルスなど、大昔の生き物の化石が展示されています。でも、どうしてインカクジラやイクチオサウルスが生きていたのが何万年前なのか分かるのでしょうか？

すでに絶滅してしまった動物がいつ頃生きていたのかを知る手がかりの一つが、化石のそばに積もっている火山灰です。火山灰の中に含まれている、ジルコンという鉱物がポイントです。ジルコンの中にはウランという放射線を出す元素が含まれていますが、その放射線が周囲のジルコンに傷をつけます。この傷の量を調べること、そのジルコンがいつ頃できたのかを知ることが出来ます。火山灰中のジルコンが何年前のものか分かれば、その近くに埋まっている化石となった動物が、どのくらい昔に生きていたのかも分かるわけです。



顕微鏡で見た小さなジルコンの結晶。
大きさは約 0.25 ミリ。

著者匿名



実は私は大学時代、このジルコンが何年前のものか調べる研究をしていました。ジルコンが含まれている岩を砕いて小さくした砂の中から、顕微鏡と筆を使って小さなジルコンの結晶を一つ一つ取り出していく作業は大変でしたが、顕微鏡で見るとジルコンの結晶は輝いていました。ジルコンは偽ダイヤモンドの原料にされてしまうこともある鉱物ですが、地球の歴史を調べることができるという点では、ダイヤモンドよりも重要な鉱物なのです。

ショー

ワークショップ

おはなし

10月 イベントカレンダー

- | | |
|---|---|
| <p>5 出張ここにこ！
じぶんの古代の生物をつくらう</p> <p>6 アルミホイルでよみがえる恐竜
～肉食恐竜編～</p> <p>12 科学ふしぎ発見！ #141</p> <p>13 平出さん・中村さんのマジックショー
展示解説
「化石が教えてくれること」
小学校高学年向け理科実験室
化石のレプリカをつくらう</p> <p>14 石のおもしろ実験
サイエンスカフェ
古生物を美味しく食べる方法</p> <p>17 一般科学講座 第2部
「古生物学10」③
一般科学講座 全員限定</p> <p>19 メダカすくに行こうか？
メダカをつくらう</p> <p>20 小学校低学年向けがく工作室
ボンボン船をつくらう</p> <p>22 このコマ、あのコマキノコ！</p> <p>26 おはなしライブ
釘うちあそびで、
なべしきを作ろう</p> <p>27 展示解説
「イクチオサウルスの正体」
小学校中学年向けがく教室
日時計をつくらう
～太陽の動き～</p> <p>本工作 10月12・13・14日開催</p> | <p>各イベントの時間・定員・参加方法などは
科学館ホームページでご確認ください。</p> |
|---|---|